

当院におけるバスキュラーアクセス閉塞に対する経皮的血栓除去術の成績

日高病院 腎不全科 安藤哲郎

維持透析患者のバスキュラーアクセス閉塞は大きな問題であり、迅速に対応する必要がある。近年各施設からバスキュラーアクセス閉塞に対して経皮的血栓除去術の治療報告が積極的になされており、標準的治療として確立しつつある。

スロンバスターⅡは経皮的血栓除去術用の血栓吸引カテーテルである。シングルルーメンのシンプルな構造を有しており、シリンジの陰圧により血栓を吸引する。特徴としてウロキナーゼと水分負荷を必要としない点が挙げられる。

当院では2005年9月よりバスキュラーアクセス閉塞に対してスロンバスターⅡを用いた経皮的血栓除去術を導入した。これまでに13名の患者に対して治療を行い、92%の初期成功率が得られた。ここではその成績について検討するとともに、施術後の長期開存率を調査し、報告する。